

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市わーくす大師	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人電機神奈川福祉センター ・代表者名 石原 康則 ・住所 横浜市杉田区新杉田町8番地の7	評価者	障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	就労移行支援(定員30名) 平均登録者数 24.1名 就労継続支援B型(定員20名) 平均登録者数 26.5名																																											
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>就労支援事業活動</td> <td>22,834,179円</td> <td>就労支援事業活動</td> <td>19,661,533円</td> </tr> <tr> <td>生産受注事業</td> <td>22,833,642円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>96,463,555円</td> <td rowspan="2">23,665,668円</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>537円</td> <td>人件費</td> <td>69,745,319円</td> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>116,956,577円</td> <td>事務費</td> <td>12,607,315円</td> <td rowspan="2">※指定管理料0円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費</td> <td>105,781,309円</td> <td>事業費</td> <td>2,831,921円</td> </tr> <tr> <td>経常経費補助金</td> <td>11,158,000円</td> <td>会計単位間繰入金</td> <td>11,279,000円</td> <td rowspan="2">※指定管理料0円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17,268円</td> <td>施設整備等</td> <td>000,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>139,790,756円</td> <td>合計</td> <td>116,125,088円</td> <td></td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	就労支援事業活動	22,834,179円	就労支援事業活動	19,661,533円	生産受注事業	22,833,642円	福祉事業活動	96,463,555円	23,665,668円	雑収入	537円	人件費	69,745,319円	福祉事業活動	116,956,577円	事務費	12,607,315円	※指定管理料0円	自立支援費	105,781,309円	事業費	2,831,921円	経常経費補助金	11,158,000円	会計単位間繰入金	11,279,000円	※指定管理料0円	その他	17,268円	施設整備等	000,000円	合計	139,790,756円	合計	116,125,088円			
収入		支出		収支差額																																								
就労支援事業活動	22,834,179円	就労支援事業活動	19,661,533円																																									
生産受注事業	22,833,642円	福祉事業活動	96,463,555円	23,665,668円																																								
雑収入	537円	人件費	69,745,319円																																									
福祉事業活動	116,956,577円	事務費	12,607,315円	※指定管理料0円																																								
自立支援費	105,781,309円	事業費	2,831,921円																																									
経常経費補助金	11,158,000円	会計単位間繰入金	11,279,000円	※指定管理料0円																																								
その他	17,268円	施設整備等	000,000円																																									
合計	139,790,756円	合計	116,125,088円																																									
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・治具の自作や作業工程の改善により、利用者が健全な労働者よりも質の高い製品を作ることを可能にしていることに加え、就労後も職場や家庭をフォローすることで早期離職者が0名であり、就労移行・就労継続の先駆的な事業所と評価できる。 ・川崎市の主催する会議に委員として参加したり、法人が受託した厚生労働省の就労に関する調査に参加したり、障害者施策の策定にも積極的に関わっている。 																																											

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・新規就労者への就労後の対応として、就労者の障害特性や指導方法等について協議する会社訪問、対人関係等の課題を聞き取る就労者への聞き取り、会社や生活の課題について情報共有する家庭との連絡を行うことにより、平成24年度の早期離職者は0名となっている。 ・重度障害や手先が不器用な利用者でも行える作業の種類が増えるよう治具を自作し、作業を通じて利用者が達成感を味わえるように工夫					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・既存の取引先から新たな仕事を受注したり、新たな取引先を開拓したことによって、就労支援事業活動による収入を十分に確保している。 ・指定管理料は0円で、給付費による安定した良好な事業運営が行われている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・自作した治具を使うことで利用者が高い品質の製品を作ることを可能にしており、利用者の達成感や自信につながっている。 ・厚生労働省の受託研究によりほかの先駆的事业所の視察をした際のプログラムをもとに事業所のプログラムの改善を図っている。 ・就労後も定着するように就労支援員を中心に就労先や家族との連絡調整、生活支援センターなどの各機関とも連携等を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) ・人員配置や連絡体制、職員研修については、適切に対応されており、問題なく施設運営が行われている。 ・ヒヤリハットの報告に基づき、作業室の改善や配線の敷き直しを行う等、安全に作業できるよう自分たちで工夫している。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
(評価の理由) ・施設は清潔に保たれ、各種保守や点検等についても適切に行われている。 ・トイレの改修工事等施設独自で適切に修繕工事を行っている。また、法人の個人情報保護規定に従い厳格に情報を保護し、整理整頓を徹底することで備品・消耗品管理を行っている。					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・年間で51名の実習生、24名の新規利用者を受け入れている。また、15名もの就労者を輩出しているにもかかわらず、本人の障害特性に合わせた就労方法について会社や家族と連絡調整することによって「早期離職者0名」の成果を上げている。
 ・重度障害や手先が不器用な利用者であっても、自作した治具を使うことで健康な一般労働者よりも高い品質の製品を作ることができることを可能にしており、利用者の達成感や自信につながっている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・引き続き、重度障害者が質の高い製品を制作することができる治具や生産工程の開発に努めること。
 ・今後とも、多くの一般就労者を輩出し、職場に長く定着するための支援を継続するとともに、特別支援学校の卒業生等の利用希望者を積極的に受け入れていくという良い循環サイクルが拡大していくことを期待する。